

農事組合法人安曇野北穂高農業生産組合

※2017年3月現在

代表者名	丸山 秀子	資本金	2.7 百万円
設立年	1968 年 8 月 3 日	売上高	157 百万円 (2015 年 12 月期)
事業内容	生産 (米、大麦、小麦、大豆、ソバ)、消費者直売	経営規模	田 145.7ha、 作業受託 (水稲作業)
従事者数	18 人 (うち女性 3 人。女性内訳：役員 1 人、一般職 2 人)		
女性活躍支援	[女性に配慮して取組んだ環境整備] 重労働等の業務改善		



経営概況

長野県安曇野市に位置する(農)安曇野北穂高農業生産組合は、米を中心に麦、大豆、ソバを生産、消費者直売を行っている。創業は1963年、農業機械の共同利用組織「北穂高機械利用組織」を結成した時から始まり、1968年に農事組合法人として法人化し現在に至る。経営面積は約157haと大規模であるものの、所有は1haのみであり、借地利用を主体とした作業受託を行っている。

そのほか、乾燥調製施設、ライスセンター、直売所等の施設を有する。2015年12月期の売上は1億5,704万円と、2014年12月期の1億4,603

万円と比較しても成長を続けている。

売上を支えている米づくりには力を入れており、土壌診断を定期的実施している。結果として、「エコファーマー」認定のほか、長野県から「信州の環境にやさしい農産物認証制度」の認証を受けている。また、安曇野ハーフマラソンの完走者への記念品としてお米の提供をしており、イベント参加を通して地域とのつながりを大切にしている。地産地消、食農教育活動を推進し、お米の学校給食利用を実現させた。

また、理事のほか従業員数男性9人、女性3人で構成されている。さらに男性従業員の平均年齢は38歳で、組合として若返りに成功している。また組合を定年退職した従業員を非常勤パートとして雇用し、技術面での継承の場を設けている。



1. 組織体制の再構築に向けた舵取り

現在6代目の組合長にあたる丸山秀子氏は、1983年に事務員として入職したものの、男女間で給与を含めた待遇に大きな差があったことから組織として変革する必要性を実感。事務長に昇進後に、能力が適切に評価される組織体制の再構築

に動き出した。

秀子氏は今までの勤務経験を活かし、賞与に採点制度を導入した。現場にいる課長と一緒に二人の目線で減点方式による評価をし、給与水準の平等化を実施した。採点結果は従業員へ説明し、個々の成長をはかることができるよう工夫を凝らしている。

さらに組合長を常勤とし、どのようなことがあっても対応できるようにした。高齢化による作業受託の増加により、5年後には経営面積が200haに及ぶことが予想され、現在も組合員の信頼のよりどころとなるための試行錯誤が続いている。高齢者世帯の雪かきの実施や、挨拶の励行を通し、従業員一人一人が人間的に成長できるよう指導している。

2. 従業員のキャリア形成

秀子氏はこれからという従業員が活躍できるように、個々のキャリアビジョンに応じた業務に挑戦させている。特に女性事務員の業務は、現場で活躍する男性従業員へのアドバイスや経理、米の販売事業と幅広く、秀子氏自ら丁寧に説明しながらキャリアアップを図っている。

さらに経営を支えていくうえで、地域の住民からインターネットで購買する顧客に至るまで、多くの人々との関係を大切にしている。直接メールによるお礼や近況報告の業務は、女性事務員が担当し、多くのリピーターを獲得する原動力となっている。

このような取り組みから、米店の売上が2014年4,264万円から2015年5,447万円と大きく成長している。一方、営業担当の従業員に対する教育も行っており1,200万円もの売上を出すことに成功した。

3. 休暇や勤務時間に関わる制度

秀子氏はワーク・ライフ・バランスのとれた勤務体系の整備を行ってきた。週休2日制を確立し、1週間あたりの勤務時間を39時間以内と定め、無理のない働きができるよう整備した。残業代の支払いを制度化し、10分単位に変更して支給できるようにしている。また、5年勤務すれば20日間の有給休暇を取得できるようにし、仕事との両立ができるように最大限の配慮をしている。そのため定着率が高く、秀子氏以外にも、勤務年数30年を超える従業員が元気に活躍している。

4. 女性が働きやすい環境の整備

「女性ならではの細やかな視点は、大型機械での作業に活かすことができる」という秀子氏自身の経験から、女性も大型機械で作業ができるよう指導体制を整えている。

さらに産休・育休の導入だけではなく、半日を単位とした短時間勤務を導入している。小学生の子供を持つ女性事務員が制度を活用し、子育てと両立させながら勤務している。

審査委員の声

生産現場・事務・販路拡大とすべての分野に深くかかわる生産組合長兼事務局長の丸山秀子さんの行動力と知恵が素晴らしい。男女格差をなくす同一労働同一賃金など賃金改善、若手採用と定年制導入を行いシニアによる若手育成など仕組みから持続的組織作りにつなげている。農業の多面的経験をもつ女性が意識決定できる立場にあることで、すべてのひとの働きやすさにつながっている点が評価できる。